

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校武蔵野ファッションカレッジ
設置者名	学校法人 後藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
服飾専門課程	アパレルプロフ ェッショナル科 (2年制)		44 単位	6 単位	
	ファッションス タイリング科 (2年制)		43 単位	6 単位	
	ファッションマ スター科 (1年制)		3 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校武蔵野ファッションカレッジ
設置者名	学校法人後藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	東都給食株式会社 代表取締役社長	2025. 5. 30 ～2029. 6. 29	学校教育への助言
非常勤	元グラントニッコー東京台場 料飲部長洋食調理長	2025. 5. 30 ～2029. 6. 29	学校教育への助言
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校武蔵野ファッションカレッジ
設置者名	学校法人後藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成について】 授業担当者は授業内容や学生の状況をもとに教務担当者と協議し、次年度のシラバス(学習支援計画書)の作成に取り組む。シラバスの書式は全科目同じ形式を教務部が策定しており、・授業の目的と概要、・卒業時の到達目標(ディプロマポリシー)との関連、・授業各回のテーマと内容、・教科書及び教材、・事前・事後学習、・成績評価の方法・基準、・成績評価別の到達度、等の項目に則って、授業担当者が記述、提示することになっている。 【時期について】 次年度の授業担当者は12月に校長と教務担当が協議を行い決定し、1月に授業担当者がシラバスを作成、2月の教務会議において、校長の承認を得て、正式決定となる。 学生に向けては、シラバス及び学則等を冊子にした「学生生活ハンドブック」を年度毎に制作し、新年度オリエンテーション時に配布及び内容の説明を行っている。 各学科のシラバスは、毎年7月に本学HP上にて公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績の評価は本学教務要綱第11条に則り行われ、科目の内容に適合した評価方法・基準を授業担当者が選定し、シラバスに記載している。試験・レポート・課題作品提出等の方法で各学生の到達度を計り、成績評価を行う。 授業への参加には規定授業回数数の2/3以上が必要であり、不足する場合は単位の取得が認められない。 単位取得が認められない学生が出た際は、その状況を調査し、単位認定試験の実施の必要性を職員会議において検討する。必要と判断された場合は、単位認定試験を実施し、学生全体の到達度の底上げをはかっている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学教務要綱第12条において、成績は100点法によるものとし、アルファベットで表す場合は、次の基準による。すなわち、 「A：80点～100点」「B：70点～79点」「C：60点～69点」「D：59点以下」とする。 A・B・Cは合格となり、所定の単位が与えられる。Dは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、そのシラバスや学則をまとめた冊子「学生生活ハンドブック」を年度始めのオリエンテーション時に配布し、担任が説明することで学生の周知をはかっている。また、公式サイトでの教育情報の公表として、職業実践専門課程の基本情報欄でも公開されている。 そのほか学修意欲向上のため、学年末には学生個々の全科目取得点の平均点から成績順位を算出し、個別の成績表に記載して配布している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では、基礎的理論と高度な技術ならびに専門士「服飾・家政専門課程」の称号取得のために必要な教育、さらに実践的な知識・技術を身に着けることを目的としている。 卒業の認定に関しては、学則第22条「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規程科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、職員会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。 また、ディプロマ・ポリシーを策定しており、卒業に関する規定等は「学生生活ハンドブック」に全て記載されている。学生にはオリエンテーション時に配布し、担任が説明をすることで周知をはかっている。教育情報の公表としてHPでも公開されている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学則で公開 https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校武蔵野ファッションカレッジ
設置者名	学校法人後藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	アパレルプロフェッショナル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1935 単位時間 / 単位	225 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1980 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2205 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		71 人	3 人	7 人	9 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3より再掲 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
学修支援等
（概要）実習形態の作品製作の時間が多い。そのため、授業時間だけでは遅滞する学生が出た場合は教員が付き、放課後に補習授業の形式で対応している。進路相談や学校生活での悩みに対して対処出来るように、担任による面談を随時実施している他、スクールカウンセラーに相談できる環境を整えている。担任制を取ることで、学校生活全般で支援をおこなっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	13 人 (54.1%)	7 人 (29.2%)	4 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） 株式会社ジュン 株式会社ピーアンドエム 株式会社 生田プリーツ 株式会社マッシュホールディングス 株式会社おしゃれ工房 株式会社ドトールコーヒー			
（就職指導内容） 学校生活全般で就職意識を高める指導を心掛け、就職活動の支援講座を授業科目として設置している。内容はエントリーシート・履歴書の添削、面接指導、企業ごとの特性を考慮した個別面談および技術試験対策、電話・メールの応対や所作等、学生個々へきめ細かな指導と手厚いサポートをおこなっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） スタイルングマップ検定ジュニア、ファッションビジネス能力検定 3 級、パターンメイキング技術検定 3 級、フォーマルスペシャリスト検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68 人	16 人	23.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振による不登校、人間関係		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを随時実施し、問題の早期対応に努めている。学費の分納及び延納措置や、学資ローン企業との提携など、学園事務局と連携して、滞納・納入不能に陥らないような支援に尽力している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ファッションスタイ リング科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1845 単位時間 単位	555 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1770 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2325 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		50 人	0 人	7 人	14 人	21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
学修支援等	
（概要）実習形態の作品製作の時間が多い。そのため、授業時間だけでは遅滞する学生が出た場合は教員が付き、放課後に補習授業の形式で対応している。進路相談や学校生活での悩みに対して対処が出来るように、担任による面談を随時実施している他、スクールカウンセラーに相談できる環境を整えている。担任制を取ることで、学校生活全般で支援をおこなっている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (86.4%)	3 人 (13.6%)
（主な就職、業界等） ファッション・アパレル業界、株式会社パル、株式会社センス、株式会社マッシュホールディングス、株式会社アダストリア、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、株式会社ジュン、株式会社コロニアスポーツウェアジャパン、MARK STYLER 株式会社、株式会社ウィゴー、株式会社ピーアンドエム、株式会社赤ちゃん本舗、合同会社 PVH ジャパン サービス業界、株式会社コンセプト、株式会社スーパーホテル			
（就職指導内容） 学校生活全般で就職意識を高める指導を心掛け、就職活動の支援講座を授業科目として設置している。内容はエントリーシート・履歴書の添削、面接指導、企業ごとの特性を考慮した個別面談および技術試験対策、電話・メールの応対や所作等、学生個々へきめ細かな指導と手厚いサポートをおこなっている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) スタイリングマップ検定ジュニア、スタイリングマップ検定プレイヤー ファッションビジネス能力検定3級、ファッションビジネス能力検定2級 フォーマルスペシャリスト検定、リテールマーケティング(販売士)検定2級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	4人	9.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振による不登校、人間関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを随時実施し、問題の早期対応に努めている。学費の分納及び延納措置や、学資ローン企業との提携など、学園事務局と連携して、滞納・納入不能に陥らないような支援に尽力している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ファッションマスタート 一科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	810 単位時間 単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			900 単位時間 /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10 人		13 人	0 人	4 人	0 人	4 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3より再掲 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 【様式第2号の3より再掲】 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
学修支援等
(概要) 実習形態の作品製作の時間が多い。そのため、授業時間だけでは遅滞する学生が出た場合は教員が付き、放課後に補習授業の形式で対応している。進路相談や学校生活での悩みに対して対処が出来るように、担任による面談を随時実施している他、スクールカウンセラーに相談できる環境を整えている。担任制を取ることで、学校生活全般で支援をおこなっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (50%)	1 人 (50%)
（主な就職、業界等） ファッション・アパレル業界、株式会社 DAZZY			
（就職指導内容） 学校生活全般で就職意識を高める指導を心掛け、就職活動の支援講座を授業科目として設置している。内容はエントリーシート・履歴書の添削、面接指導、企業ごとの特性を考慮した個別面談等を行い、学生個々へ丁寧な指導を心がけている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 学生自身の技術力向上の為、複数体の作品発表を成果としている。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 退学者 0 名		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを随時実施し、問題の早期対応に努めている。学費の分納及び延納措置の対応や学資ローン企業との提携による学費納入支援を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
アパレルプロフェッショナル科 (2年制)	200,000 円	600,000 円	290,000 円	実習費・施設設備費・維持費
ファッションスタイリング科 (2年制)	200,000 円	570,000 円	300,000 円	実習費・施設設備費・維持費
ファッションマスター科 (1年制)	100,000 円	350,000 円	220,000 円	施設設備費・維持費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員として、関連企業、高等学校教員、卒業生等から選任し、委員会を開催している。それぞれの見知から適切な学校運営等について評価を行っている。 評価内容は法人事務局等と共有され、次年度以降の改善に活用されている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
アパレル企業 代表取締役	2025/4/1～2026/3/31	学校の専門分野における業界関係者
高等学校 教員	2025/4/1～2026/3/31	高等学校 家庭科教諭
ファッションブランド マネジメント事業 代表	2025/4/1～2026/3/31	卒業生
デザイン企画事業 ディレクター・デザイナー・代表	2025/4/1～2026/3/31	学校の専門分野における業界関係者
スタイリスト・アーティスト マネジメント事業 代表	2025/4/1～2026/3/31	学校の専門分野における業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
受審準備についての研修会に定期的に参加している。(教務部)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311600119
学校名（〇〇大学 等）	専門学校武蔵野ファッションカレッジ
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人後藤学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		23 人（0 人）	24 人（0 人）	26 人（0人）
内 訳	第Ⅰ区分	16 人	17 人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	－ 人	人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－ 人	人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0 人	0 人	
	区分外（多子世帯）	0 人	0 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（0人）
合計（年間）				26 人（0人）
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	人	0人	-人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。